

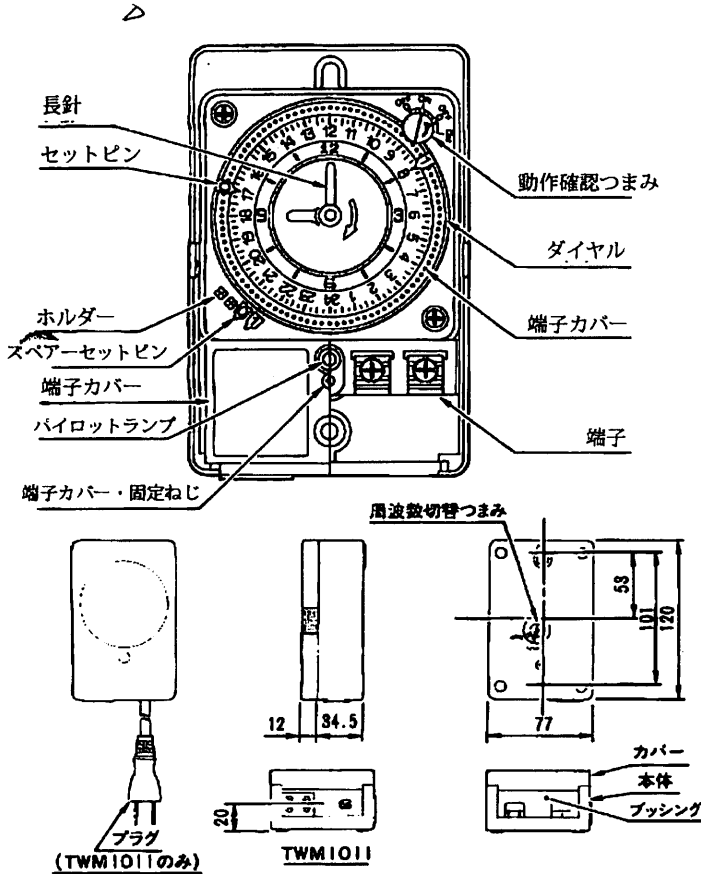
TOSHIBA

東芝タイムスイッチ取扱説明書

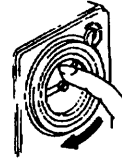
TWM1011, TWM1021, TWM1032, TWM2041, TWM2052

このたびは東芝タイムスイッチをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのタイムスイッチを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

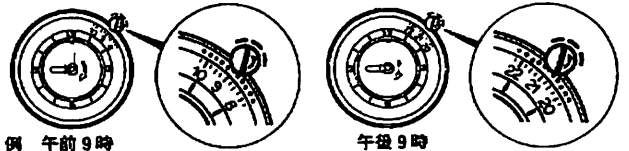
各部の名称と大きさ(単位:mm)



- ダイヤルの回転は直接ダイヤルをまわさないで「時計の針」をまわしてください。



- (このタイムスイッチは「時刻合わせ」「スイッチ動作時間」を高精度に確保するためにアナログ時計を付加しておりますので操作は必ず時計の針を指でまわしておこなってください。)
- 現在時刻を合わせる場合は操作する時間が午前か午後かご注意の上操作してください。
時計の時刻と動作確認つまみの位置のダイヤル(針で回転する部分)の表示時刻が合致します。



例 午前9時

午後9時

- 「動作確認つまみ」は、ON(又はOFF)位置からOFF(又はON)に回転したときは、必ずつぎのON(又はOFF)位置まで回転してください。
- 「動作確認つまみ」は現在時刻を変えないでスイッチ動作が確認できます。
- スイッチ動作の確認は「時計の針」を回転させてもできます。
この場合には針を24時間回転させて現在時刻を調整してください。
- 事故防止、タイムスイッチ保護のために、カバー、端子カバーは必ず取り付けてください。
- 使用中に停電があった場合は、停電時間だけ遅れます。時刻を調整してください。
- カバーなどの汚れをとる場合には洗剤を浸した布を固く絞ってふき取ってください。ベンジン、シンナーなどは絶対に使用しないでください。

ご注意とお願い

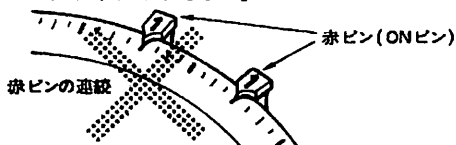
- タイムスイッチの操作方法は説明書に示す正しい方法で操作してください。
- スイッチの寿命、精度、性能は使用条件に大きく影響しますのでつぎの注意事項をお守りください。

■操作方法の注意事項

- 使用周波数を取付工事の前に確認してください。
本体裏側の「周波数切替つまみ」の位置(出荷時は50Hzの位置)をご使用になる地域の周波数に合わせてください。



- ダイヤル、つまみは必ず矢印の方向にまわしてください。
- 赤ピン(ONピン)は連続してセットしないでください。
誤動作の原因となります。使用しないセットピンはダイヤルから取り外してください。



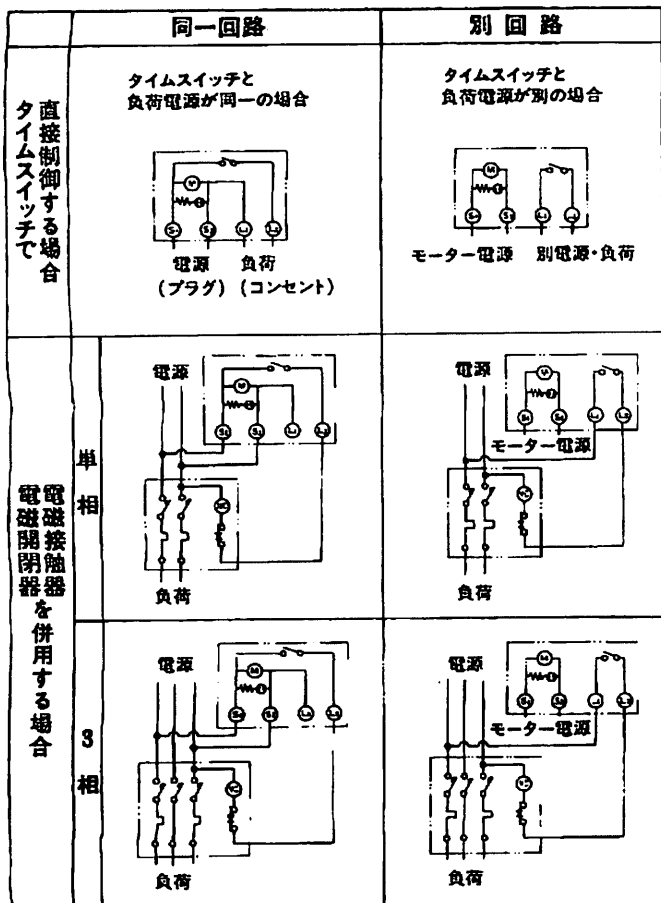
■使用条件の注意事項

- 周囲温度が -10°C ~ $+50^{\circ}\text{C}$ 、乾燥した場所で使用してください。
つぎの場所でのご使用はさけてください。
 - 周囲温度が -10°C 以下、 $+50^{\circ}\text{C}$ 以上の場所
 - 火気の近く、湿気・ホコリ・ガスの多い場所
 - 雨、日光の直接あたる場所
 - 振動、衝撃の多い場所
- 保護箱に収納して使用する場合は、箱内温度に注意してください。
 - 保護箱の材料、構造によりますが、直射日光が直接保護箱に当たる場合には、箱内の温度は相当上昇しますので、保護箱に通風孔を設ける・取付場所に注意する等の対応が必要です。
- 直接制御できる負荷容量は、表の値によります。

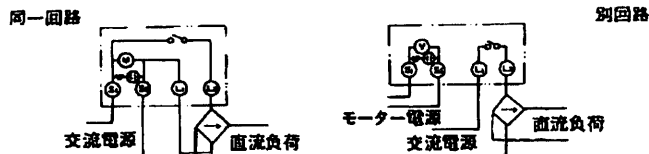
負荷の種類	負荷容量	
	100V 定格のもの	200V 定格のもの
抵抗	AC 100V・15A以下	AC 200V・15A以下
白熱灯	AC 100V・750W以下	AC 200V・1500W以下
モーター負荷($\cos\theta \geq 0.7$)	AC 100V・400W以下	AC 200V・750W以下

●白熱灯の越流電流の波高値は、定常電流の10倍以下であること。
●単相モーターの起動電流の波高値は、定常電流の5倍以下であること。

① 表の値を越える大きな負荷の場合や3相負荷の場合は、電磁開閉器を併用してください。



② 直流負荷の制御は、交流電源側でおこなってください。



③ ヒーター負荷の制御の場合には、必ずサーモスイッチを負荷回路に入れてください。

取付工事・配線工事

- 取付工事をする前に必ず「周波数切替つまみ」の位置を確認してください。
- 取付けは本体の上下2ヵ所の取付穴で木ねじなどを使用して固定してください。
- 電線は確実に接続してください。
● 適用電線 600Vビニル絶縁電線 φ.6または2mm²以上
- 結線完了後、時刻調整後はそれぞれ端子カバー、プッシングカバーを所定の位置に確実に取り付けてください。

つかいがた

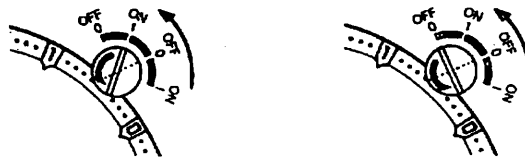
- 動作時刻の設定 → 24時間
- ダイヤルのセットピン穴に「ON」「OFF」させたい位置にセットピンを差し込みます。
● ON (電気を入れる) ピン……赤ピン
● OFF (電気を切る) ピン……白ピン
- 「赤ピン」は連続してセットしないでください。使用しない「赤ピン」は、ダイヤルから必ず取り外してください。
- ピンの差し込みは、根元まで確実に押し込んでください。

2. 現在時刻の調整

- 現在時刻は「時計の針」を指して矢印方向に回転して合わせます。
- 時計表示部は12時間までですので、13時(午後1時)~24時(午後12時)の時は、時刻合わせを間違いないようにお願いします。


3. スイッチ動作の確認

- スイッチ動作の確認は「動作確認つまみ」を矢印方向に回転して行います。



- ① 「ON」(又は「OFF」)の位置で、OFF(又はON)したときは、必ず、つぎのON(又はOFF)の位置までまわしてください。
- ② セットピンが「動作確認つまみ」の位置にある時は、つまみをまわさないでください。「時計の針」を回転して、「ダイヤル」を回転させてもおこなえます。この場合は、現在時刻を再調整してください。
4. 通電の確認
● 電源を入れるとパイロットランプが点灯(電源表示)し、タイムスイッチが動作します。
5. ON・OFF動作回数が4回以上の場合
● セットピンの数はON3動作・OFF3動作分(計6個)付けています。
● 4回以上必要とする場合には、別にお買い求めください。
(修理サービス項参照)

仕様

形名	TWM1011	TWM1021	TWM1032	TWM2041	TWM2052
定格電圧	AC 100V			AC 200V	
周波数	50Hz・60Hz 切替式				
スイッチ容積	構成 単極単投 				
	抵抗負荷 15A				
	白熱灯負荷 750W		1500W		
	モーター負荷 400W		750W		
動作数	標準24時間6動作(セットピンの追加により最高48動作まで可能です。)				
最小設定単位	15分				
最小設定間隔	30分				
消費電力	1.5W以下			3W以下	
回路構成	同一回路	別回路	同一回路	別回路	
電源接続	電源プラグ	端子			
負荷接続	コンセント	端子			
使用温度範囲	-10℃~50℃				
時間精度	電源周波数に同期				
時計が正常に動作する電圧範囲	AC 100V ±10%			AC 200V ±10%	

修理サービス

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってお買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝消費者ご相談センター、東芝家庭電器サービスステーションにご相談ください。(器具の形名 TWM1011、TWM1021、TWM1032、TWM2041、TWM2052およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。)
- セットピンは「入」「切」用3個ずつ付属しています。6動作以上でご使用になるときは、お近くの東芝家庭電器サービスステーションでお求めください。